

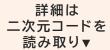
「座ってはたらくこと」に関するアンケート結果

本プロジェクト紹介



その立ち仕事、座ってできるかも?

「座ってイイッスPROJECT」とは"立ちっぱなし"という日常的な課題に対する問題提起と、その解決を目指すプロジェクトです。マイナビバイトが主体となり、日本のアルバイト環境にある見えない慣習を現代アップデートし"アルバイトの働き方改革"に繋げたいと考えております。10~20代の方々をはじめ妊娠中の方、ご高齢の方、足腰に自信がない方、ハンディキャップがある方など様々な方に対して"座って働ける環境"を導入・提供できるクライアント様を募集しています。







日本最大級のクリエイティブアワード「2024 64th ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」において応募数2,323件の中から PR部門における最高賞 <総務大臣賞 / ACCグランプリ > 、デザイン部門における < ACCゴールド > 、 ブランデッド・コミュニケーション部門におけるBカテゴリー < ACCブロンズ > の3部門で受賞をしました!

優れたPR事例を選考・顕彰することで、PRの普及と発展に寄与することを目的に実施しているアワード「PRアワードグランプリ 2024」において最高賞であるグランプリを受賞しました!

2024年の優れたマーケティング活動を表彰する「第17回 日本マーケティング大賞」において推薦プロジェクト総数96件の中から、準グランプリを受賞しました!

「第78回 広告電通賞」では応募総数1,274作品の中から ブランドエクスペリエンス最高賞とSDGs特別賞優秀賞を受賞しました!(2025年7月28日公表)

厚生労働省HPにて取り上げられています

立ち仕事の負担軽減対策の取り組みとしてマイナビバイトチェア導入企業の事例が紹介されています。







詳細は 二次元コードを 読み取り▼



日経/ライブドア/PRTIMESなど様々なメディアに露出



「X」などのSNSでも広く拡散され、 認知度が高まっています。

6,000以上のリポスト 3.5万いいね

ユーザーアンケート概要

「座ってイイッスPROJECT」にご参画いただいたクライアントで働く

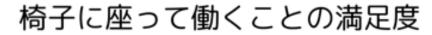


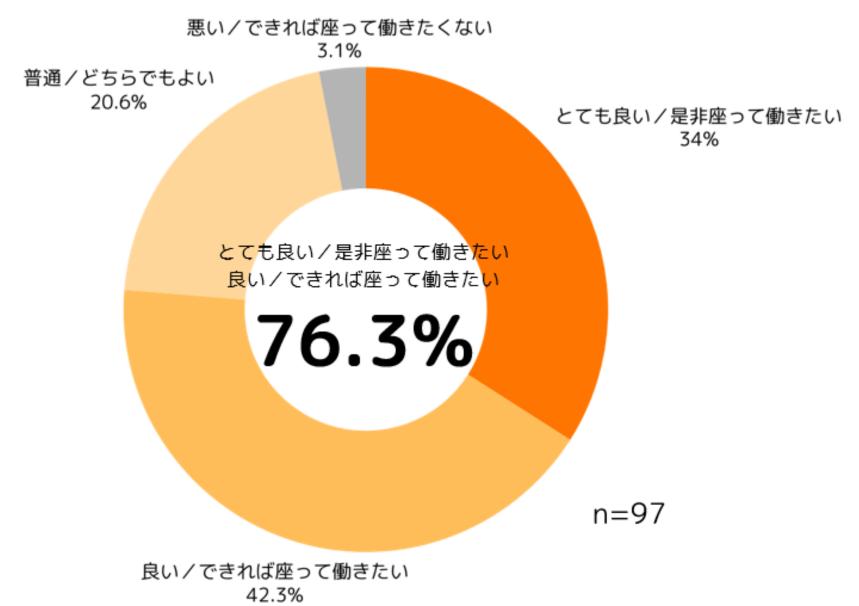
従業員様 (97名) にアンケートを実施しました。

設問は以下の通り。

- ●「椅子に座って働くことへの満足度を教えてください」
- ●「今後も椅子に座って働きたいと思いますか?」
- ●「椅子に座って働いた経験について、自由にご記入ください」

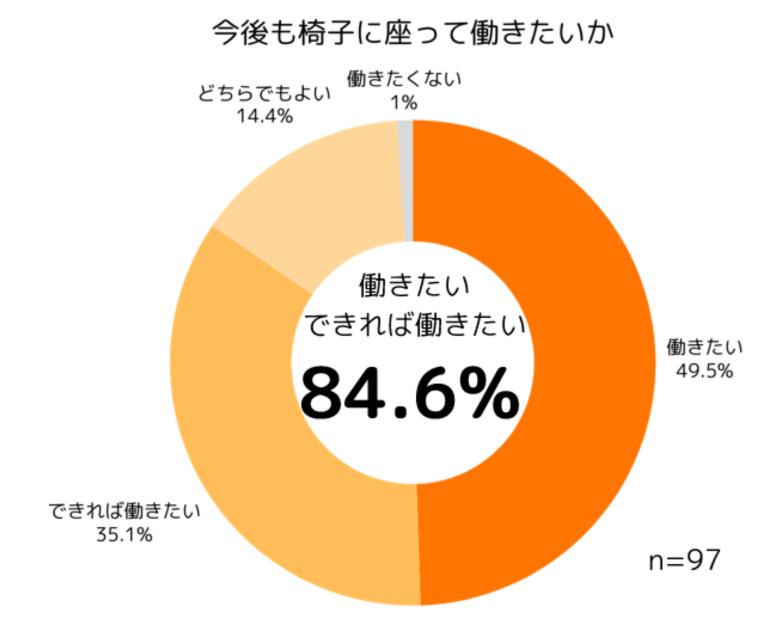
ユーザーアンケート:「椅子に座って働くことへの満足度を教えてください」





このグラフからは、全体の76.3%が「座って働きたい」と感じていることが分かります。(「良い」「とても良い」の合計) 特に「是非座って働きたい」と答えた人が34%と高く、座って働くことに対する強い支持が見られます。 一方で、「どちらでもよい」と答えた人が20.6%、「できれば座って働きたくない」と答えた人はわずか3.1%にとどまっており、否定的な意見は少数派です。この結果から、座って働く環境の整備が従業員の満足度向上に寄与する可能性が高いと考えられます。

<u>ユーザーアンケート:「今後も椅子に座って働きたいと思いますか?」</u>



このグラフからは、全体の84.6%が「今後も椅子に座って働きたい」と考えていることが分かります。(「働きたい」「できれば働きたい」の合計)特に、「働きたい」と明確に答えた人が49.5%と半数近くを占めており、座って働くスタイルが高く支持されていることがうかがえます。「どちらでもよい」と答えた人は14.4%で、柔軟な姿勢を持つ層も一定数存在します。一方で、「働きたくない」と答えた人はわずか1%にとどまり、否定的な意見はほとんど見られません。

ユーザーアンケート:従業員様の実際の声(一部抜粋)

- お客様が入店されるタイミングで立ってお迎えするようにしているので、接客時のお客様への影響はないと思います。少しでも座れると身体だけでなく心理的にも少し楽になれるので、椅子があるのはとても良いと感じます。
- 椅子の高さが絶妙なので、そこまでフットワークを落とすことなく、仕事ができた点が素晴らしかったです。また、<mark>からだへの負担がかなり 減ったと実感ができる</mark>レベルなので、そういった点でも大変良いと思いました。日本は、なぜか立ってお出迎えなどの文化がありますが、この文化をこういった活動によって、時代の変化と共に変わっていければいいなと思いました。
- 気持ちに少しだけ余裕ができると思います。
- 他店でドッカリ座っているのを見ると、あまりイイ気持ちはしないけれども、この椅子は高さがあるので、あまり座っている風には見えない ため、イイと思う。
- ポスターを見て「いいね!ぜひ座って働いてほしい!」という声を聞き、あたたかい気持ちになりました。
- お客様から特に何かご意見をいただく事はありませんでした。自分自身でも座ってお仕事をしている方を見かけても特に気にはなりませんし、長時間勤務を少しでも快適に過ごす為には良いと思います。
- ・ <u>座った事によって余裕もできた</u>。お客様にも関心をもってもらえて、宣伝にもなり良い事が増えた。
- 立ち仕事は初めての業種だったので、最初はなれずしんどかった。途中からイスが導入されて、非常に楽になった。座りっぱなしも立ちっぱなしも良くないので、こういう働き方がもっと広まればよいと思います。

クライアントアンケート概要

「座ってイイッスPROJECT」にご参画いただいた

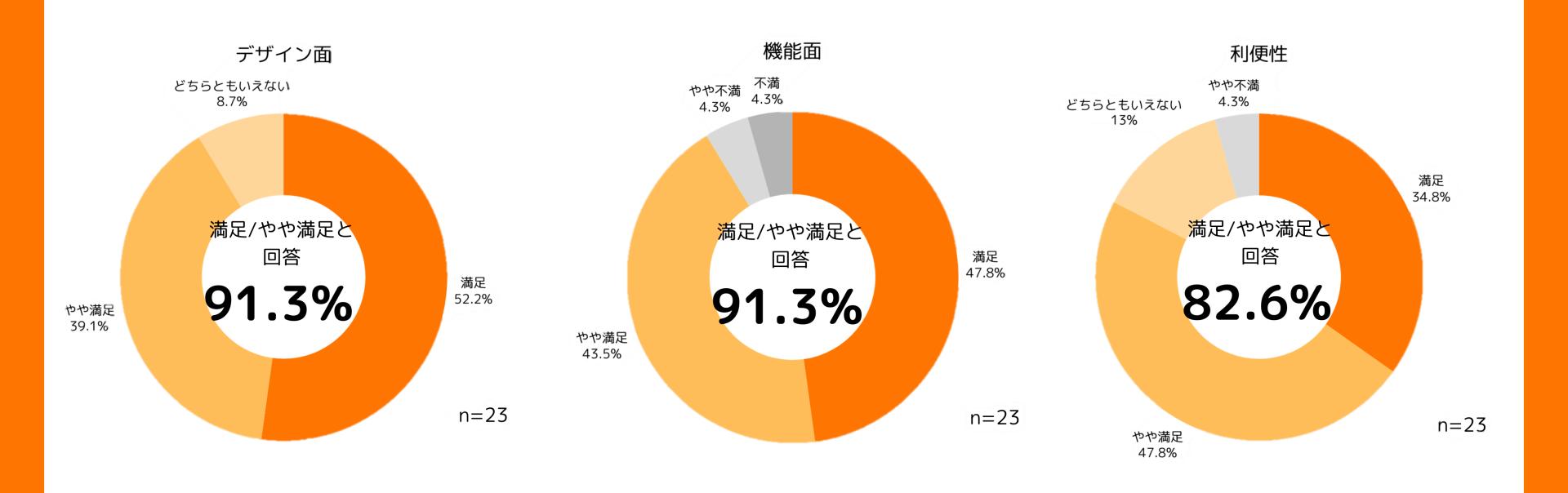


クライアント担当者様 (23名) にアンケートを実施しました。

設問は以下の通り。

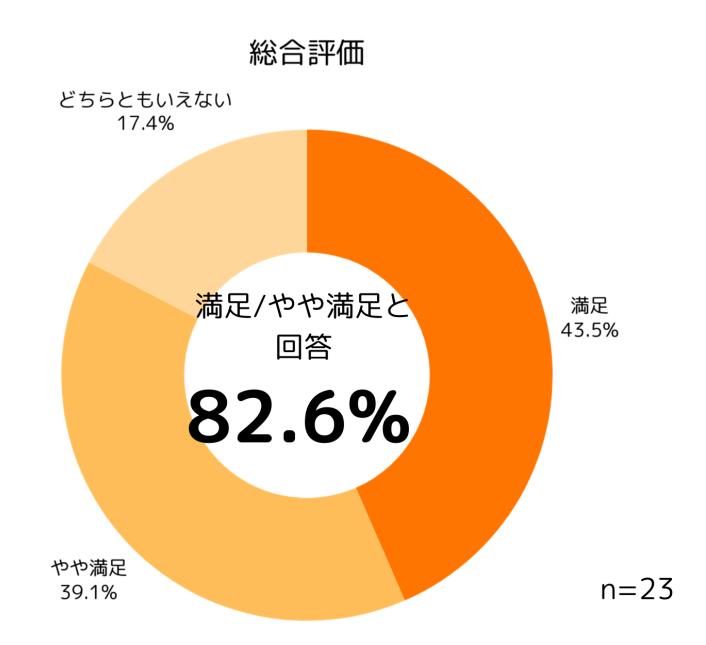
- ●「デザイン面」、「機能面」、「利便性」、「総合評価」それぞれの満足度を教えてください。
- ●「総合評価の理由を具体的に教えてください。」

クライアントアンケート:「デザイン面」、「機能面」、「利便性」



デザイン面の「満足/やや満足」の合計が91.3%と非常に高く、見た目に対する評価は全体的に良好です。「どちらともいえない」が8.7%で、不満の声は見られません。機能面の「満足/やや満足」が91.3%と高く、機能性に対する評価も非常に良好です。「不満」「やや不満」がそれぞれ4.3%と少数ながら存在しており、一部のユーザーには改善の余地があることがうかがえます。利便性の「満足」が34.8%とやや低めですが、「やや満足」が47.8%と最も多く、全体としては前向きな評価が多いです。「どちらともいえない」が13%、「やや不満」が4.3%で、使い勝手に関しては個人差が出やすい項目であることが分かります。

クライアントアンケート:総合評価



全体の82.6%が「満足」または「やや満足」と回答しており、椅子に対する総合的な評価は非常に高い水準にあります。「やや満足」が39.1%と続いており、細かな改善点はあるものの、基本的な機能や快適性には十分に満足している層が多いことが分かります。一方で、「どちらともいえない」と答えた人が17.4%存在しており、今後の改善や個別対応によって、さらに満足度を高める余地があると考えられます。特に「満足」と答えた人が43.5%と半数近くを占めており、製品や使用環境に対する強い肯定的な印象がうかがえます。この総合評価は、これまでの「デザイン面」「機能面」「利便性」に関する個別評価と整合性があり、椅子の導入が職場環境の向上に寄与していることを裏付ける結果となっています。

クライアントアンケート: クライアント担当者様の実際の声(一部抜粋)

- プロジェクトに参画することで、一番の目的であるスタッフの「立ちっぱなし」の作業について、 **お客様に悪い印象を与えることなく改善さ** せることが出来た点が、費用対効果も良く非常に満足しています。
- レジ用のイスをしばらく探していましたが市販品では①高さ調節できる ②コンパクト ③耐久性の条件に当てはまるものが無く<mark>レジ用に特化したイスで大変満足</mark>しています。
- 全てにおいて申し分ない。
- 高さ調節がもっと自在にできると良いと思うが、安全性を考えると致し方無いだろうと想像できる。使い心地や大きさについて満足度が高い。
- 他の椅子と違い幅もとることなく、ある程度の<mark>身長差も関係なく使える</mark>ところが良い椅子に座る他によりかかれるのも選択できるのも現場では高評価でした。
- 以前から従業員の高齢化への対応や職場環境の向上のため、スタンディングチェアを探していたのですが、導入にあたってのお客様からの ご理解を得られるかという心理的な障壁と、理想的な使用感を見込めるイスの2つが揃わず3年程経過し、たまたまYouTubeのFNN ニュースで座ってイイッスのプロジェクトを知り、すぐにお問合せいたしました。安定感、座面の硬さ、軽さ、見た目、立ち仕事の事を考えつく してデザインされていてとても良い製品だと思います。またこのイスを使用する事が社会に新しい提案をするプロジェクトになっていて、イス導入への心理的障壁が低くなる事も素晴らしいアイデアだと思いました。

導入企業職種一覧(一例)

 スーパー
 ホテル
 コープ
 ドラッグストア
 ゴルフ場

 コンビニ
 アミューズメント
 車・自転車
 その他小売
 道の駅etc

【厚生労働省】立ち作業の負担軽減対策の取組事例紹介

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage 43968.html

✓ 1店舗からの導入も可能!

☑ 店舗数や企業規模に関わらず参画が可能!

☑ 使用場所や方法は自由に選択!

ブランディング向上はもちろん、今回の取り組みを導入するにあたり、就業環境の改善を図ることができ、求職者**からの注目度が**上がります。 新しい環境を取り入れて差別化を図り、<mark>採用強化・定着率の向上を応援します!</mark>